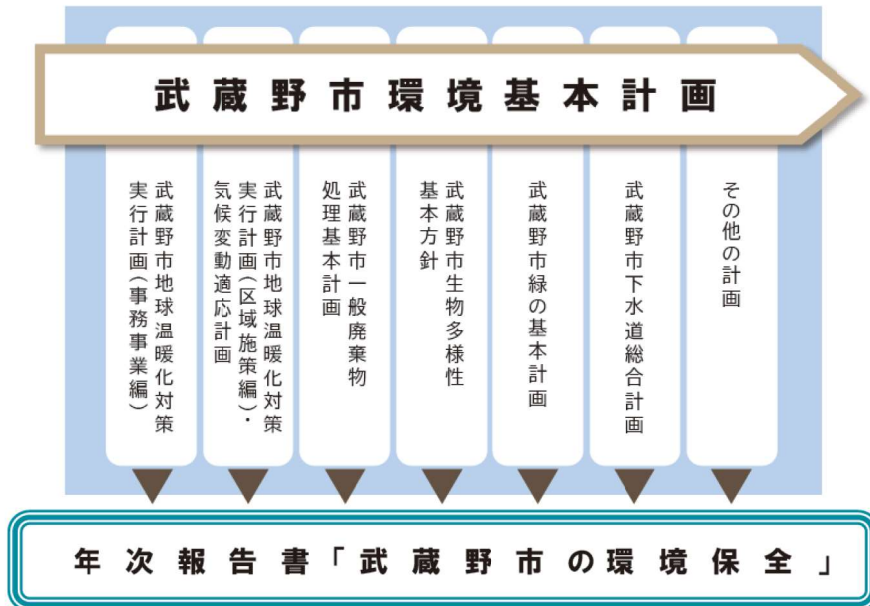


第五期武蔵野市環境基本計画の中間評価について

1 前提(本計画の位置付け)

- ①本計画は、R3(2021)～R12(2030)年度までの10年間の計画である。
- ②本計画は、市の行う環境施策についての大きな方向性を示す計画として、他の計画の内容を横断的に取り扱うものとして位置付けている。
- ③具体的な施策のレベルでの進行管理は、各個別計画に委ねることとし、本計画においては、各環境方針ごとに総合的な視点で評価を行うものとしており、達成すべき定量的な目標は設定していない。
- ④毎年度の評価は、環境市民会議の審議を受け、年次報告書「武蔵野市の環境保全」により公表している。なお、環境市民会議の要請により、R4(2022)年度からは、環境方針毎に指標を設定し、施策の進捗状況の目安としている。
- ⑤本計画では、「社会情勢の変化等により、必要に応じて計画期間内においても計画の見直しを行う。」こととしているが、現行の環境方針の見直しが必要とされるほどの社会情勢の変化等は生じていないことから、現時点において計画自体の見直しは行わないものとする。



第五期環境基本計画の施策体系

あらゆる人を環境の当事者に
全ての環境方針に共通する前提

環境方針1(地球温暖化・エネルギー)

地球温暖化に正面から対峙する「ゼロカーボンシティ」を目指します

環境方針2(廃棄物)

ごみの新しい価値を見出しながら、循環型社会を推進します

環境方針3(自然環境)

武蔵野らしさを大切に、人と自然が調和したまちをつくります

環境方針4(都市環境)

環境に優しい都市基盤のリニューアルを推進します

環境方針5(公害・災害)

安全・安心で快適なまちづくりのために、公害・災害対策を推進します

2 目的

計画前期(R3～R6年度)における施策の進捗状況や成果を評価するとともに、コロナ禍によるライフスタイルの変化、気象災害の激甚化・頻発化の進行や環境分野の技術開発、関係法令の改正等、環境を取り巻く様々な状況の変化等から現状の課題を整理した上で、後期(R8～R12年度)の施策を効果的かつ着実に推進するために、施策の方向性に反映すべきポイントについて検討する。

3 実施方法

- ①R7(2025)年度は計画期間の中間年にあたることから、現行計画で想定している施策の前期(R3～R6)の実施状況及び成果を整理した上で、環境方針ごとに総合的な視点で定性的な評価を行う【資料3】。
- ②①の評価にあたっては、R4(2022)年度から実施している各環境方針ごとの指標による定量的評価【資料5】と、今回実施した市民アンケート調査(満足度)の結果【資料2】も参考とする。
- ③①の評価とあわせて、R3年度以降の環境を取り巻く状況の変化等を踏まえ、現状の課題を整理した上で、後期(R8～R12年度)の施策の方向性に反映すべきポイントについて検討する。

4 今後の予定

期	回	時期	
第13期	第6回	R7.11.14	市民等アンケート調査結果・前期施策の評価について
	第7回	R8.1月中旬	現状の課題・後期施策のポイントについて
第14期	第1回	R8.3月上旬	後期施策の方向性について、全体の確認